

ハイブリッド ワークプレイス

新しい現実の中で仕事を成功させるには

ハイブリッドワークプレイスを使いこなす

私たちの働き方が大きく変わったことは周知の事実です。コロナ禍により、物理的に離れていても接続を維持することが課題となりました。この新しい現実、企業はこれまで以上にリモートワークを採用し、サポートすることで迅速に対応する必要があります。この差し迫ったニーズを認識したシスコは、最初の対応として、ビデオ会議やセキュリティソリューションを無償で提供するとともに、オフィスの機材、ビデオ機器を世界中の学校、病院、政府機関に発送しました。

その理由は、対面であってもリモートであっても、顔を見ながら仕事をする方がうまくいくと考えたからです。直接会うことができない場合でも、臨場感のあるビデオとコラボレーション機能があれば、そのエクスペリエンスを維持できます。シスコは、ビデオ会議の市場シェアリーダーとして、このテクノロジーを活用する最も効率的な方法を研究してきましたが、その成果をこのガイドで紹介したいと思います。

私たちが取り組み始めている「新しい生活様式」において、企業が直面する主な課題は、ホームオフィスと従来のオフィスの間でどちらつかずになっている従業員をサポートすることです。これをハイブリッドワークプレイスと呼んでいます。オフィスに戻りたいというニーズや衝動はありますが、最大の関心事は、従業員が身体的にも精神的にも健康であることです。

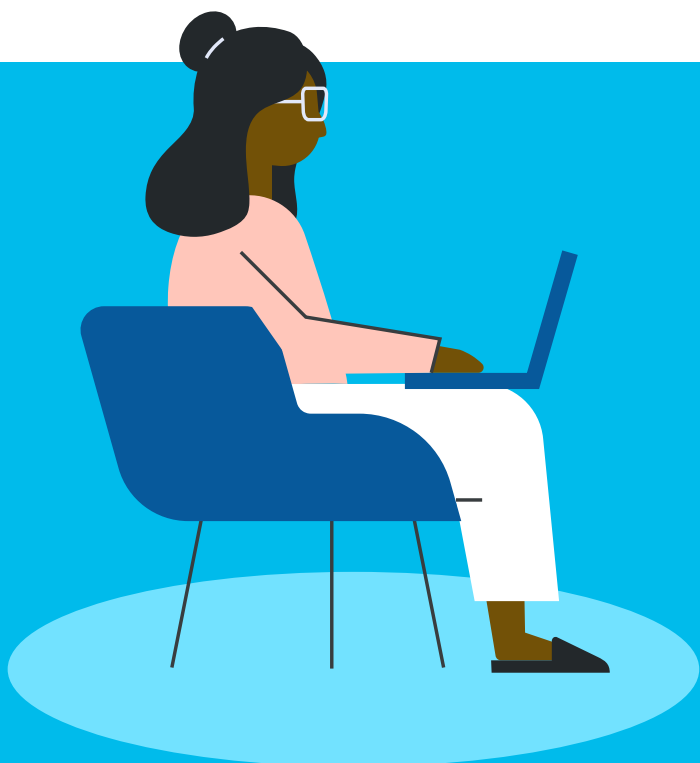
コロナ禍への初動対応としてホームオフィスでの生産性維持にいち早く対応した企業も、今では文化的変化、戦略的計画、より優れたツールが不可欠となる長期的な戦略に直面しています。これには、現状に対応するだけでなく、ビジネスの競争力を維持するチャンスにもなるという利点があります。

コロナ禍に関連した他の投資は、安全性を重視したものになるかもしれませんが、クラウドへの移行、成熟したホームオフィス戦略の採用、オフィス内のコラボレーションスペースの有効化などは、信じられないほどのポジティブな波及効果をもたらします。

- ・ 居住地に関わらず、最高の人材を採用する
- ・ 出張費を削減しながら環境も保護する
- ・ 従業員のワークライフバランスを向上させる
- ・ どこにいても生産性とコラボレーションを維持し、対面と変わらない仕事を行う
- ・ センサーやデジタルインターフェースを用いて、ビル、部屋、デスクに及ぶまでスマートなサービスでオフィス環境を実現する

これ以降のページでは、安全で効率的かつ魅力的なハイブリッドワークプレイスを構築するための重要な原則をご紹介します。それではご覧ください。詳細をぜひごお問い合わせください。

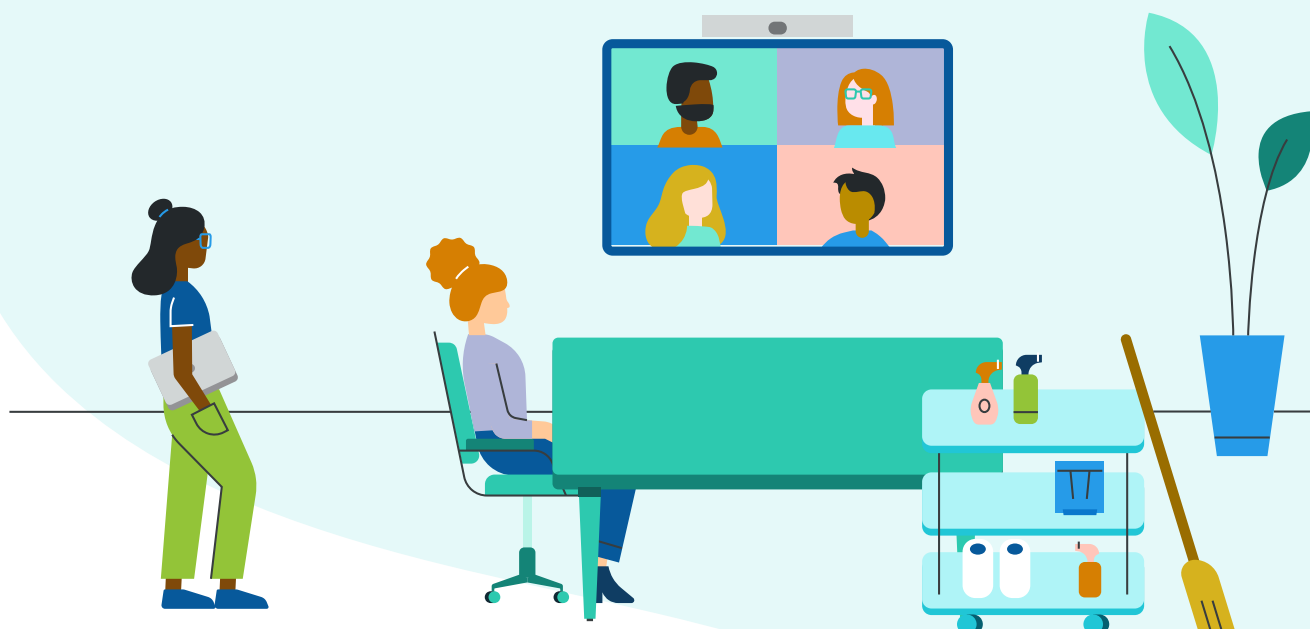
VP/GM, Sandeep Mehra,
Webex Rooms デザイン ディレクタ Sondre Ager-Wick



目次

1. ハイブリッドワークプレイスを使いこなす
2. 従業員の安全を守る
3. ハイブリッドワークプレイスのシナリオ
4. さらなる進化を求めて

従業員の安全を守る



安全なオフィスのための 7 つの原則

コロナ禍において、安全なワークプレイスに関する専門家の推奨事項に基づいて、7 つの普遍的な原則を確認しました。これらの原則は、リーダー、人事、IT、サイトマネージャ、従業員など多くの分野にまたがるチームによって実施される必要があります。

以下のページでは、これらの原則に基づいて構築された、安全で協力的な職場環境の傾向と対策を示します。

- 1 人同士の接触を減らす
- 2 対面会議を極力減らす
- 3 あらゆるものに触れる必要性を最小限に抑える
- 4 従業員を導き、教育する
- 5 清掃と消毒
- 6 従業員の体温を測定する
- 7 人数と移動を追跡する

出典：

[WHO](#)

[米国政府](#)

[JLL](#)

[Nelson](#)

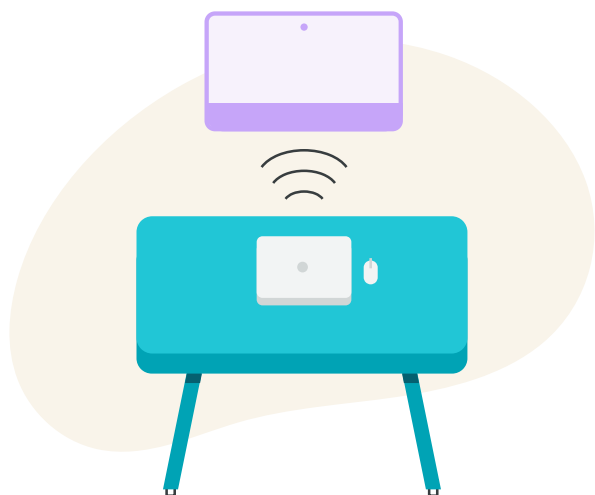
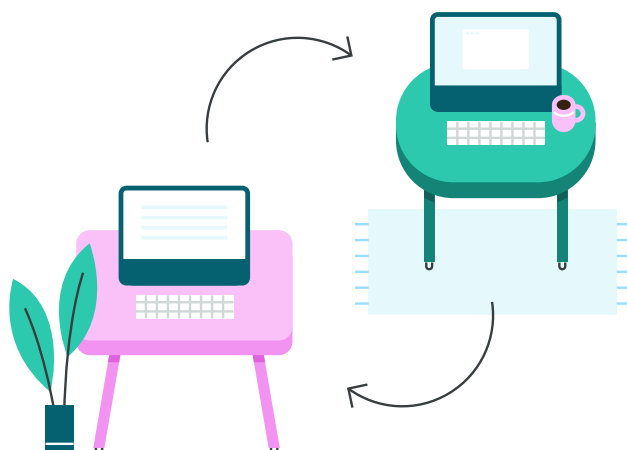
[BBC](#)

[Bloomberg](#)

[BuzzFeed](#)

ホットデスクの利用法を刷新

従業員の大半がリモートまたは柔軟なワークスタイルに移行する中で、専用のオフィススペースを必要とする従業員の数が減るため、ホットデスクの利用は衰えていません。ただし、この方法に関しては、ステーションの監視と清掃の方法を見直す必要があります。安全衛生基準を満たすために、既存のスペースに対して「使用は1日1回」または「クリーンイン、クリーンアウト」ポリシーを検討してください。



小規模な会議室の増加とデスクコラボレーションデバイスの利用拡大

会議に複数の場所から参加するようになれば、たとえそれが同じビルにある隣の会議室からであっても、安全な距離を容易に保てるようになります。柔軟に利用できるように設計されたセミオープンスペースは、臨時で行う会議やブレインストーミングにも最適です。従業員は、パソコンと携帯電話を持ち込んで、近接ペアリングや非接触コラボレーションを容易に実現できるようになります。

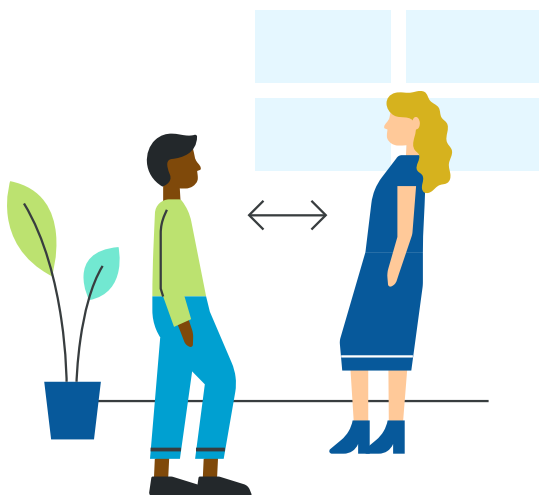
コラボレーションの増加、出張の減少

出張はすでに大幅に削減されています。当面は、Web会議がチームコラボレーションの中心となることを見込まれます。自宅とオフィスに Webex Rooms デバイスを配置することで、誰にとっても機会均等な条件で参加でき、意思決定が行える環境が実現します。人員が1カ所に集まる必要性が減っている今を好機として、長期的な投資戦略にデジタルインフラストラクチャの変更を組み込んでいきましょう。



より良い会議方法を求めて

チームの分散が進んで従業員が異なる時間帯にオフィスに来るようになると、自然発生的な会議が減少します。Cisco Webex ハイブリッドカレンダーサービスを有効にすると、あらゆるデバイスから会議を容易に計画、スケジュール設定し、参加できるようになります。Webex Teams のステータスでは、クイックチャットに参加できるユーザを確認できるため、場所について懸念する必要はありません。Cisco Webex ハイブリッドカレンダーは、Microsoft Exchange、Office 365、Google Calendar に対応しています。

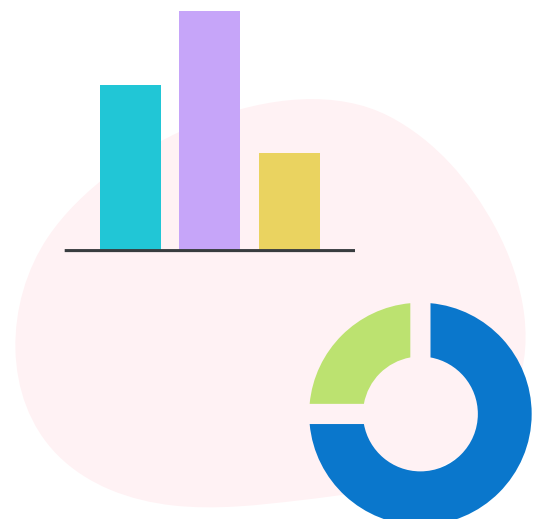


スペース使用状況のモニタリングと分析

頻繁に使用されているスペースや現在使用されているスペースを把握することで、スペースの使用状況を容易に管理できるようになります。すべての Webex Room、Board、Desk シリーズデバイスには、インテリジェントな人数カウントセンサーが直接組み込まれているため、大変便利です。企業は、利用定員に基づいてアラートを作成したり、スペースの使用状況を追跡したり、簡単に行えるカスタマイズや利用可能な API を通じて、使用後に部屋を清掃するトリガーも作成できます。

不動産の最適化

不動産の利用状況の追跡とモニタリングにより、スペースの最適化、柔軟性の向上、およびコスト削減が期待できます。お客様からは、Webex Meetings および Rooms デバイスが提供するインサイトと分析が、コスト削減と ROI の向上を実証する最良の方法であるとの声を頂いています。Webex ソリューションのデータを活用することで、長期的な不動産計画を自信を持って策定できます。



ハイブリッドワークプレイスのシナリオ

在宅勤務

自宅ほど安全な場所はありません。在宅勤務は、従業員がワークライフバランスを達成するための時間の節約にもなります。従業員の生産性を高めるには、次の点を考慮する必要があります。

認知的な作業負荷

ビデオ会議の疲れには、集中的な対策を立てることができます。これを可能にするのは、会議で相手の合図を理解する際の認知的な作業負荷を最小限に抑えられる、高品質の音声とビデオです。

安心のコラボレーション

在宅勤務であっても、プロであることを疎かにはできません。自宅とオフィスにある Webex デバイスにより、[Webex Desk Pro](#) や Webex Room キットなどの専用機器を使用して、会議にすばやく参加し、高解像度で表示され、緊密なコラボレーションを行うことができます。

管理性

ホームオフィスの管理エクスペリエンスについてはどうでしょうか。ご安心ください。ホームオフィスのセキュリティ、デバイス、ライセンスはすべてコントロールハブから管理できます。



オフィスに行く

オフィスに出向く従業員にとって、正しい行動に向けたガイダンスと注意喚起は不可欠です。

ガイドと教育

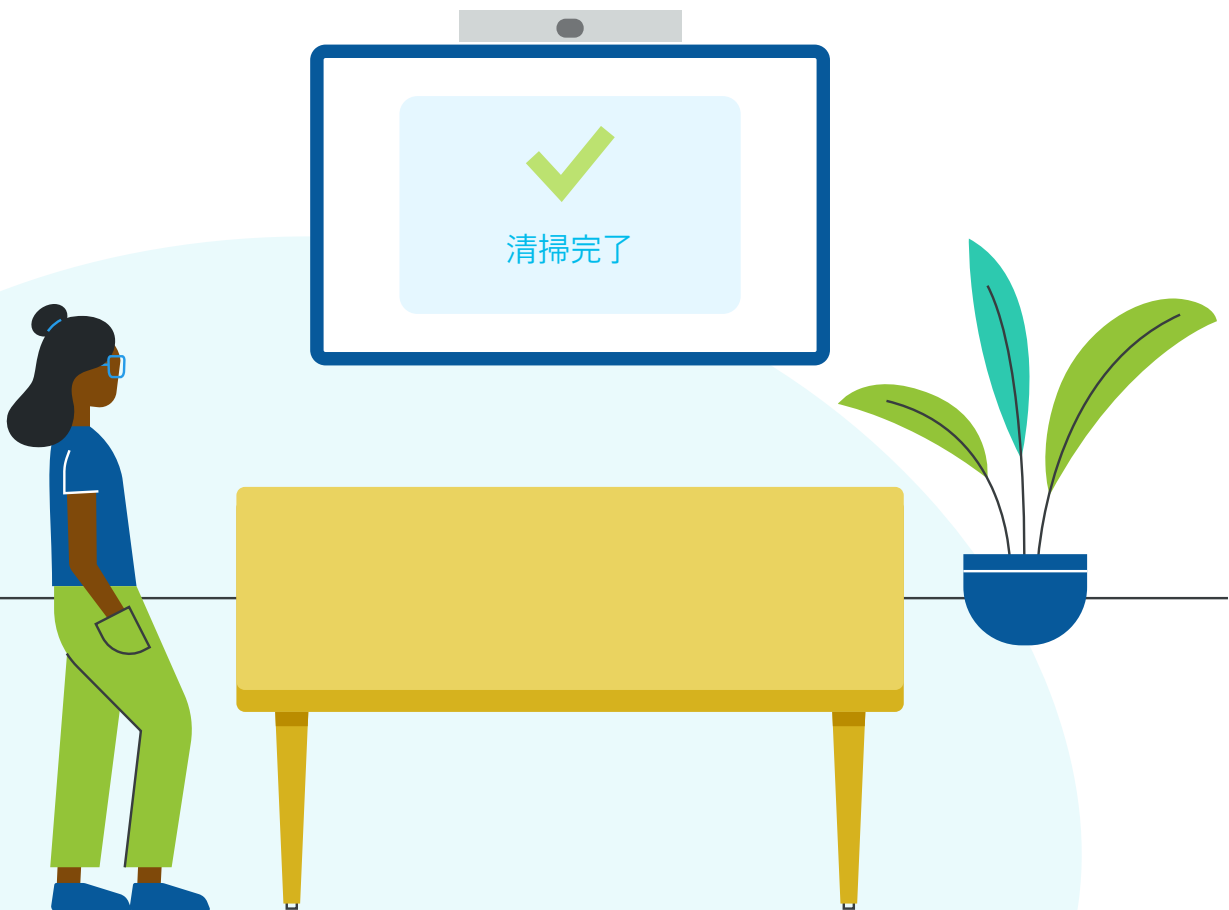
デジタルサイネージを通じて、従業員に最新の安全ガイダンスを提供してください。すべての共有デバイスは、コントロールハブを介して容易に管理できます。デバイスの[デジタルサイネージを設定](#)する方法を次に示します。

安全確保をシンプルに

最後に清掃が行われた時刻を表示するマイクロサービスは、容易に作成できます。[Webex ブログ](#)や[DevNet](#)のRoom Devicesセクションをご確認ください。

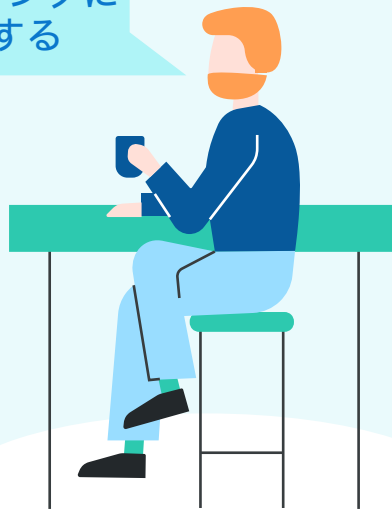
分析と追跡

Cisco DNA Spaces と Meraki を活用して、ビル全体の人員密度を監視します。Cisco DNA Spaces では豊富なロケーションベースのサービスを利用可能で、これを任意のカスタム人事管理アプローチと統合できます。[DNA Spaces について詳細をご確認ください。](#)



オフィスでの共同作業

ミーティングに
参加する

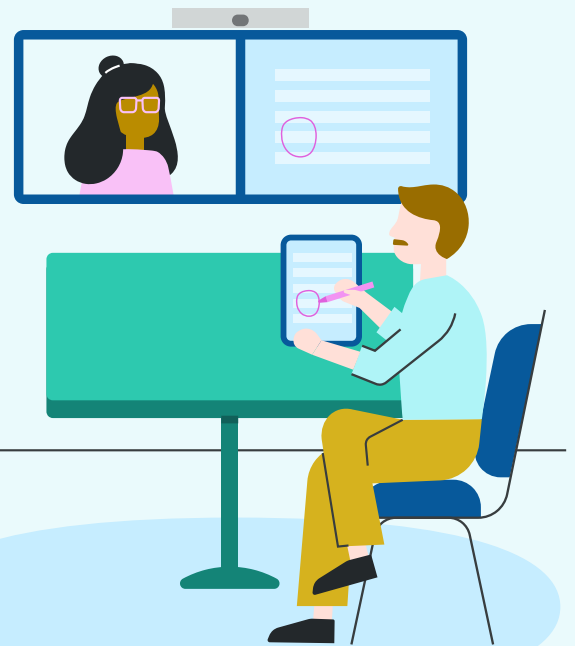


接触を最小限に抑える音声制御

[Webex Rooms 用 Webex Assistant](#) を使用すると、デバイスを音声で制御できます。デバイスを良好な状態に保ちながら汚染をさらに最小限に抑えるには、[清掃ガイドライン](#) に従ってください。

個人デバイスの持ち込み可能

個人のデバイスで Webex アプリを使用すれば、その効果は絶大です。たとえば、自宅のホワイトボードや会議室のタブレットを、会議室の大画面に表示できます。安全性を維持したままでコラボレーションが可能になります。

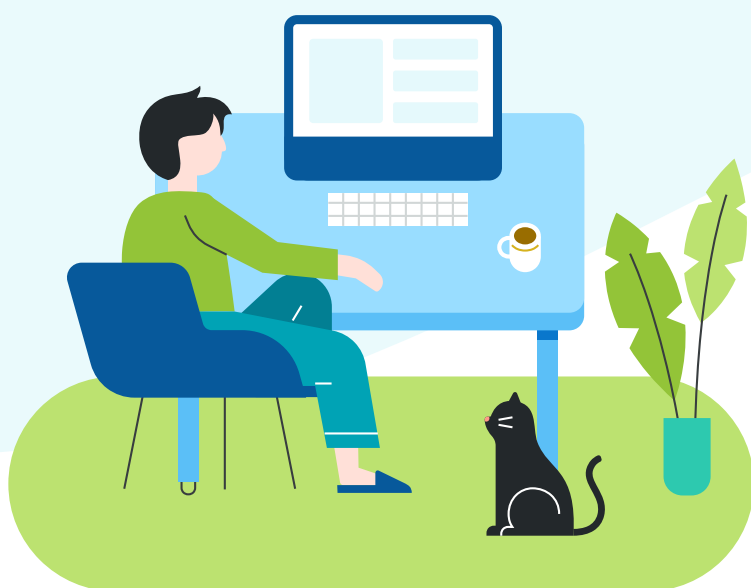


オフィスでの共同作業

おっと！現在、
この部屋は定員
オーバーです。

安全性を維持するための注意喚起

オーストラリアのあるお客様は、
人数カウントやマクロを使用して、
会議室ごとの人数制限を通知する
カスタムアラートを作成しました。



早い立ち上がり

従業員が自宅やオフィスを行き来したり、移動したりすると、従業員の場所
が突然変わることがあります。

クラウドに対応しており、自宅でもオ
フィスでも同じ業務経験があれば、立
ち上げや運用の手間は最小限に抑え
られます。

一日の締めくくり



消毒をシンプルに

会議室の人数や DNA Space で追跡される人数密度に基づいて、清掃アラートを設定し、ROI を向上し、安全性、利便性を最大限に高めることができます。

レジリエンスの高いコラボレーション

すべてのワークショップや会議に実際に参加することは、現実的ではないかもしれません。Webex Teams でフォローアップしたり、Webex Meetings for Webex Assistant で会議の録画を見たり、自動化された議事録を読んだりするなどの選択を従業員が行えるようにしてください。



さらなる進化を求めて

現在のビジネスの状況に応じて、やるべき仕事は変わってきます。以下に示す 3 つのフェーズを利用して、体系的にアプローチしてください。

1. 配慮と継続性

推奨される目標 ビジネス運営を維持する。従業員に配慮し、サポートを提供する。

ワークスペースポリシー 必要不可欠な従業員のみがオフィスに入室できるようにする。在宅勤務者をサポートする。

スペースの設計と管理 状況に応じたガイダンスと教育を活用して、ソーシャルディスタンス維持に向けた注意喚起を行う。

テクノロジー 在宅勤務の実現: ラップトップ、VPN、コラボレーションツールを整備する。エグゼクティブコミュニケーション、市役所、教育向けの仮想イベントを立ち上げる。

成果 不安を解消し、オフィスビル外でも生産性が向上することを実証する。

2. オフィスへの復帰

安心感を持たせて、ハイブリッドワークスペースを立ち上げる。

施設利用の管理: 役割による優先順位付け、予約制による利用、チームの緊密なクラスタ化。従業員の大半が依然として在宅勤務しているのは、リスクと報酬を比較した結果に基づくもの。

既存のオフィスレイアウトを改修し、配置を再考して、従業員が密集せず距離を保てるようにする。作業スペースの分離と占有制限により密度を低減する。

ビデオデバイスの導入を拡大して、分散した従業員をサポートする。職場でのやり取りに、ハンズフリー技術を導入する。すべての人に状況別ガイダンスを提供する。

信頼を獲得し、3P（ポリシー、プロセス、手順）を新しい現実に適応させ、迅速な技術革新を実現する。

3. ハイブリッドワークスペース

新しいスキルを活用し、新たな市場機会に積極的に参入する。

施設のインテリジェントな利用: 作業アクティビティに基づき、必要に応じて誰もが利用できるようにする。

企業の不動産（CRE）戦略を調整する: 「安全な」コラボレーション、学習、社交に重点を置く。よりオープンな、「私たち」という環境を整備する。利用人数密度と調整可能なスペースを動的に管理する。容易に消毒できるよう、新しい材料や素材を調査する。

データと位置情報サービスの活用: リスクと連絡先の追跡、職場のコンシェルジュサービス、インテリジェントな道案内、スマートヘルスビルテクノロジー。

CRE ポートフォリオの最適化を促進し、新しい人材プールにアクセスし、従業員の社会契約を進化させます。

連絡先情報

Webex Rooms によるハイブリッドワークプレイスへの移行の詳細については www.cisco.com/go/webexrooms を、最適なデバイスについては www.cisco.com/go/collabbuynow をご覧ください。



Cisco Webex

[Webex コミュニティで「ネクストノーマル」への議論
にご参加ください](#)